

学校独自選抜資料の概要

1 実施する学校独自選抜資料等

科名	選抜段階	学校独自選抜資料	実技検査等に関する事前調査票への記載事項
普通	I	実技検査	実技検査で受検する種目（野球またはサッカー）とポジションを記載する。
芸術	I	実技検査	

2 日程 3月5日（木）

(1) 普通科（野球・サッカー）

実技検査（晴天時・雨天時）

時間	内容	備考
9:45～11:30	全種目共通実技検査（当該種目についての聞き取り）	係の指示に従う。説明及び注意を伝達し聞き取りを行う。
11:30～12:20	昼食	健康状態を確認する。
12:20～12:30	更衣・移動	係の指示に従う。
12:30～13:00	全種目共通実技検査（体操）	説明及び注意を伝達し検査を実施する。健康状態を確認する。
13:00～13:05	移動	係の指示に従って種目別実技検査会場に移動する。
13:05～14:35	種目別実技検査	各種目別に説明及び注意を伝達し、準備運動の後、検査を実施する。検査後に整理運動を行い、健康状態を確認する。

(2) 芸術科（外国人生徒選抜受検者を含む）

ア 音楽専攻

実技検査（晴天時・雨天時）

時間	内容	備考
10:00～10:10	移動	係の指示に従って検査室に移動する。
10:10～11:00	聴音検査	聴音検査実施上の説明及び注意を伝達し検査を実施する。
11:00～11:30	専攻別検査準備	専攻別検査実施上の説明及び注意を伝達する。練習室に移動し音出しをする。
11:30～12:30	専攻別検査及び全専攻共通検査（当該専攻についての聞き取り）	専攻別検査終了後、一人ずつ聞き取りを行う。

イ 美術専攻

実技検査（晴天時・雨天時）

時間	内容	備考
10:00～10:05	移動	係の指示に従って検査室に移動する。
10:05～10:15	鉛筆デッサン検査準備	鉛筆デッサン検査実施上の説明及び注意を伝達する。
10:15～11:45	鉛筆デッサン検査	検査を実施する。
11:45～12:30	昼食	
12:30～13:35	全専攻共通検査（当該専攻についての聞き取り）	一人ずつ聞き取りを行う。

3 学校独自選抜資料の概要

(1) 普通科（野球・サッカー）

実技検査

ア 全種目共通検査

所要時間	検査内容・携行品	場所
4分／1人	1 当該種目についての聞き取り（入学後の活動意欲、中学時代の活動状況、当該種目に対する関心・理解等について聞き取りをする。） 【携行品】上履き	聞き取り室 (体育的活動)
3分／1人	2 体操（ラジオ体操第一（掛け声付きCDによる）をする。） 【携行品】種目別検査の服装、体育館シューズ	体育館2階

イ 種目別検査

種目名	検査内容・携行品
所要時間	
場所【雨天時】	
野球	晴天時・雨天時 1 キャッチボール（2人一組で行う。） 2 ティーバッティング（ティー台を使用する。） 3 短距離走（30メートルを2回走る。雨天時は15メートルを2回走る。） ※本校で用意するソフトボール1号球とソフトボール用バットを使用する。 雨天時はテニスボールを使用する。 【携行品】体育着（ユニフォーム及び練習着は不可、ジャージは可）、スパイクシューズ、グローブ（硬式用又は軟式用も可）、体育館シューズ
90分	
グラウンド東側 【体育館1階多目的室】	
サッカー	晴天時・雨天時 〈フィールドプレーヤー〉 1 ボールコントロール（リフティング、対人パスを行う。） 2 ボールコントロール（ドリブルを行う。） 3 ボールキープ（1対1のボールキープを行う。） 〈ゴールキーパー〉 1・2はフィールドプレーヤーに同じ。 3 キャッチング、セービング（ステップ、ハイボールの処理、キャッチング、シュートストップを行う。） ※検査での使用球は5号球とし、本校で用意する。 【携行品】体育着（又はサッカーができる服装）、サッカーシューズ、体育館シューズ、ゴールキーパーはキーパーグローブ
90分	
グラウンド西側 【体育館2階】	

(2) 芸術科（音楽専攻、美術専攻）

実技検査

ア 全専攻共通検査

所要時間	検査内容・携行品	場所
2分／1人	当該専攻についての聞き取り（入学後の活動意欲、中学時代の活動状況、当該専攻に対する関心・理解等について聞き取りをする。）	聞き取り室（音楽専攻） 聞き取り室（美術専攻）

イ 専攻別検査

種目名	検査内容・携行品
所要時間	
場所	

<p>音楽専攻</p> <p>聴音検査 50 分 専攻別検査 5 分程度／ 1 人</p> <p>音楽館 音楽室（検査室） 練習室（音出し室） 合奏室（控室）</p>	<p>1 聴音検査（ピアノで弾く 8 小節の旋律 2 題（ハ長調、イ短調）を書き取る。） 【携行品】鉛筆、消しゴム</p> <p>2 専攻別検査（声楽・ピアノ・器楽・邦楽・作曲、それぞれの専攻別に、 ア及びイの 2 種類の実技検査をする。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声楽専攻 ア 「コンコーネ 50 番」の中から希望する 1 曲を選び、階名又は母音「ア」で歌唱する。 イ 希望する<u>声楽独唱曲</u> 1 曲を歌唱する。 ・ピアノ専攻 ア 「ツェルニー 30 番・40 番・50 番」の中から希望する 1 曲を選び、演奏する。 イ ピアノソナタまたはソナチネの中から希望する 1 曲を選び、第 1 楽章あるいは終楽章のどちらかを演奏する。ただし、緩徐楽章は除く。 ・器楽専攻（ピアノ専攻を除く。） ア 専攻する楽器で、希望する調の音階を 2 オクターブ上行及び下行で演奏する。速度や形式は自由とする。ただし、打楽器専攻のうち、小太鼓での受検では音階に代わりリズムの初見視奏を行う。 イ 専攻する楽器で、3 分程度の希望する器楽独奏曲を演奏する。 ・邦楽専攻 ア 箏・三味線専攻は調弦（調子は当日指定）、篠笛専攻は音階を演奏する。 イ 専攻する楽器で、3 分程度の希望する邦楽独奏曲を演奏する。 ・作曲専攻 ア 希望するピアノ曲を 1 曲演奏する。 イ 3 分から 5 分程度の自作のピアノ曲を演奏する。 <p>〈留意事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 声楽専攻以外は、すべて無伴奏で演奏する。 ※ 入学願書提出時、「音楽実技検査調査票」と、出身中学、氏名を記入した自由曲の楽譜を添付する。（コピーの楽譜は不可） ※ 演奏は、すべて暗譜で行い、繰り返しはしない。演奏は、途中で打ち切ることがある。 ※ 声楽専攻のアは、高声・中声・低声用のいずれの楽譜を演奏してもよい。声楽専攻の検査は、すべて検査員が伴奏する。 ※ 打楽器専攻は、小太鼓又はマリンバで演奏する。 ※ 管楽器はフルート、オーボエ、ファゴット、クラリネット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバとする。弦楽器はヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスとする。邦楽器は箏、三味線、篠笛とする。その他の楽器で受検を希望する場合は出願する前に相談する。 ※ 管・弦・打楽器及び邦楽専攻のイの演奏曲は、専攻楽器の独奏用に作曲・編曲され、楽譜が出版されている作品とする。 ※ 管・弦・打楽器及び邦楽専攻のイの演奏曲は、複数曲を演奏して 3 分程度とすることができる。 ※ 邦楽専攻のアの検査及び各専攻の選曲等、詳細については、事前に相談する。 ※ コントラバス等の大型楽器及び打楽器の貸し出しについては、「音楽実技検査調査票」に希望の有無を記入する。
<p>美術専攻</p> <p>90 分</p>	<p>鉛筆デッサン（与えられたモチーフを四つ切り画用紙に鉛筆で描く。） 【携行品】鉛筆（H～4 B など）、消しゴム（練り消しゴムなど）、カッターナイフ</p>

北館素描室(検査室)	等の鉛筆削り具
南館面接控室(控室)	※デッサンスケールや測り棒の使用可
	※定規使用不可

4 注意事項

(1) 普通科（野球・サッカー）

ア 実技検査は、当該種目に関する適性、技能、活動意欲を評価します。スピード、距離及びタイムを競うものではありません。

イ 病気・けがなど、健康上の問題がある場合、運動を伴う実技検査は受けられません。

なお、実技検査の追検査は行いません。

ウ 実技検査中の負傷等については会場校が応急措置を行います。運動を伴う実技検査を受検する場合には、傷害保険への加入をおすすめします。

エ 昼食・水筒（飲料）・防寒着等を準備してください。

(2) 芸術科（音楽専攻、美術専攻）

ア 実技検査においては、適性、技能・表現能力等を評価します。

イ 当日、病気等の理由によりやむを得ず欠席した場合は、追検査を実施します。

ウ 実技検査中の負傷等については会場校が応急措置を行います。

エ 水筒（飲料）・防寒着等を準備してください。

オ 美術専攻受検者は昼食を準備してください。

5 問い合わせ先

県立浜松江之島高等学校 電話 053 - 425 - 6020